

令和7年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立浦和高等学校) 学校番号 401

【様式】

学校教育目標	高い知性と豊かな人間性・社会性を兼ね備え、国際社会に貢献する高い志を持った人材を育成する。
目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。

重点目標	1 熟達者の指導力の継承を図ると共に、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組む。 2 一人ひとりの生徒に寄り添い、高い志を培い、豊かな知性と人間性を育む。 3 学校・保護者・地域と協働した教育活動を展開し、中高一貫教育等の本校の魅力を発信して公立学校教育をリードする。 4 学校施設・設備の安全管理を徹底すると共に、教職員が誇りと使命感を得られる環境づくりを推進する。 5 教科指導や部活動、学校行事により醍醐味(美しさ・楽しさ・面白さ)に迫る指導に取り組む教職員の資質向上と専門性の深化を図る。
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学びの質の向上に関する取組

心のサポートに関する取組

地域とともに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					年度評価		学校運営協議会による評価
年度目標					年度評価		実施日令和8年2月10日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 「文武両道」の教育理念のもと、中高一貫校としての特性を活かしながら教育活動を展開している。落ち着いた学習環境の中、内進生と高入生が互いに切磋琢磨し、高い志をもって本校の教育活動に取り組んでいる。また、生徒の期待に応える授業研究に継続的に取り組むことで、進学実績が向上している。今年度は市教委研究委嘱(3年間)の2年目にあたる。 【課題】 国公立大学2次試験対策を踏まえた進学実績の更なる向上を図るとともに、生徒の主体性を根幹とした「探究的な学び」「学び合い」「個別最適な学び」の推進を一層強化する。また、ICTを活用した学習方法の充実、若手教員の指導力向上にも取り組む。さらに、令和8年度の研究発表に向けた準備を着実に進める。	授業改善による質の高い学びの充実と希望進路の実現	①研究授業・公開授業を実施し、「探究的な学び」「学び合い」「個別最適な学び」等について研究協議する。 ②社会人講演会等、各学年において計画的な進路指導を実施するとともに、国公立2次対応力を一層育成する。	①研究授業・公開授業の実施と評価アンケート「授業の満足度」等授業評価に係る肯定的回答数(率)。 ②評価アンケート進路指導に係る肯定的回答数(率)。 ※具体的な進路実績は年度末に分析	①評価アンケート「授業の分かりやすさ」の肯定的回答率は96.2%(1.6増)、「授業はやる気を引き出す」の肯定的回答率は92.5%(4.9増)。 ②評価アンケート「生徒一人ひとりにきめ細かな進路指導になっている」の肯定的回答率は86.9%(4.1増)。	A	○指導力向上の一環として、若手からベテランまでが研究授業や公開授業、研究協議等に取り組み、授業力を高めた。今後も継続していきたい。 ○iPadや協働学習アプリの活用が、生徒の「学びやすさ」の向上に寄与している。今後も本校の実態に即した個別最適な学びや協働的な学びの充実を一層推進していきたい。 ○生成AIの効果的な活用について、引き続き研究を進めるとともに、生徒が生成AIリテラシーを身に付けられるよう指導していく必要がある。
		ICTを効果的に活用した学習方法の充実	①iPadを効果的に活用し、個別最適な学習方法や在宅学習を支援する。 ②学力向上につながる生成AIの活用方法について研究する。	①生徒のiPad活用状況と評価アンケートICTに係る肯定的回答数(率)。 ②生成AIを効果的に活用した学習方法の立案。	①評価アンケート「iPadの活用は学習内容を理解しやすい」の肯定的回答率は97.1%(新)。 ②生成AIの学習活用事例を9例立案。	A	○海外修学旅行を柱としながら、各学年で国際理解教育を着実に推進することができた。次年度11月に開催予定の研究発表会(市教育委員会委嘱)に向けて、準備を進めていく。
		グローバル人材の育成につながる国際理解教育の充実	①市教委研究委嘱「グローバル社会で活躍できる人材の育成」を推進し、SDGsを題材にした国際的課題解決型授業等の国際理解教育を実施する。 ②異文化体験や英語活用等を確保しつつ、物価上昇等を踏まえた今後の海外修学旅行の方向性を検討する。	①研究発表に向けた中間報告資料の作成、評価アンケート国際理解教育に係る肯定的回答数(率)。 ②修学旅行検討委員会における調査資料・代替案等の資料の作成と立案。	①評価アンケート「地域社会や国際社会に貢献しようとする志は高まったか」の肯定的回答率は84%(新)、「異文化交流や国際的な活動に参加したい」の肯定的回答率は83.3%(新)。 ②修学旅行検討委員会における調査資料・代替案等の検討・立案を進めた。	B	○個人面談の継続実施により、生徒一人ひとりに寄り添った進路指導が行われており、心のケアと学習支援の両立が図られている。
2	【現状】 個人面談の充実を図り、生徒一人ひとりの不安や悩みに寄り添うとともに、個々の実態に応じた進路指導を行うことで、「第1志望を最後まで諦めない」という高い志の育成が定着しつつある。また、部活動や学校行事を通じて、生徒の心身の成長を育んでいる。 【課題】 複数の教員が連携して関わる「寄り添い型支援」の推進を一層強化する。生徒指導と教育相談が連携し、生徒が安心感をもてる学校生活を実現するとともに、将来を見据えた高い志の育成を図る。	生徒に寄り添う教育相談と高い志を育む進路指導の充実	①複数回の生徒面談を実施し、生徒に寄り添う支援体制を構築する。 ②「将来の選択」を充実させる観点から大学入学共通テスト「フル受験」を推奨する。	①複数の教員が関わる個人面談を、年間3回以上実施、評価アンケート生徒理解に係る肯定的回答数(率)。 ②大学入学共通テストフル受験者数(率)。	①面談を3回以上実施した。評価アンケート生徒理解に係る項目の肯定的回答率平均は93.0%。 ②大学入学共通テストフル受験率は65.9%(4.8減)で5年連続60%を超えた。	A	○年3回以上の個人面談を継続的に実施することで、生徒の精神面への配慮を行いながら、進路指導を行うことができた。今後も「フル受験」の意義を丁寧に伝え、本校の学びに生徒が主体的かつ前向きに取り組めるよう支援していきたい。
		主権者意識と人権感覚を高める生徒指導の充実	①登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等、生徒が自ら考えて取り組む生徒指導を推進する。	①評価アンケート生徒の規範意識に係る肯定的回答数(率)。	①評価アンケート生徒の規範意識に係る項目の肯定的回答平均は95.4%。	A	○多くの生徒はしっかりと学校生活を送っているが、登下校の交通マナー等に一定の課題がある。
		部活動や学校行事の奨励と積極的支援	①「部活動に係る活動方針」を踏まえ、積極的な活動支援を行う。 ②生徒が主体性を発揮する学校行事を実施する。	①学校行事や部活動等の活動状況及び成果。 ②評価アンケート部活動・学校行事に係る肯定的回答数(率)。	①部活動の表彰件数は12月末時点での41件。(19件減) ②評価アンケート部活動に係る項目の肯定的回答率は91.3%(2.9増)。	A	○文武両道の進学校としての歩みを継続している。
3	【現状】 PTAや地域の協力により学校行事は円滑に実施されている。生徒は、「市立浦和」への高い期待と関心に応える姿勢を見せている。 【課題】 受験生にとってより魅力ある学校づくりを目指し、実績の積み重ねと広報活動を充実させる。また、コミュニティスクールを機能させ、「市立浦和」ならではの特色ある教育実践の研究を継続する。	保護者、地域等との連携と魅力ある学校づくりの推進	①コミュニティスクールによる連携を推進し、学校運営協議会における熟議を通じた地域課題・学校課題の克服に迫る。 ②学校ホームページや土曜公開授業、学校説明会を中心とした広報活動で生徒の活躍する姿を一層広報する。	①学校運営協議会の開催及びPTA、地域ボランティアの学校行事への参画。 ②学校説明会の参加人数、アンケート、学校ホームページ閲覧数、本校への志願倍率。	①体育祭の受付、文化祭の警備等、各行事についてPTA及び地域の方の協力を得られた。 ②学校説明会の参加人数4,776人、学校ホームページ閲覧数352,704件、本校への志願倍率2.35倍(全日制・普通科 県内トップ)。	A	○学校運営協議会では「10年後も地域に誇れる学校であるために」をテーマに活発な意見交換を行うことができた。 ○持続可能なPTAの在り方について、生徒の学校生活がより充実したものになるよう検討を進めたい。 ○今後も保護者と丁寧に協議を重ねていきたい。 ○今後も土曜授業公開や学校説明会を積極的にを行い、生徒自身の言葉で本校の魅力を発信する機会を設定していく。
		安心安全な学習環境の整備	①日頃の施設巡回と定期的な安全点検を実施し、破損箇所を早期発見して迅速に対応する。 ②リフレッシュ工事に向けて具体的に検討する。	①施設を起因とする学習の妨げ、事故発生件数。 ②職員への意見集約及び検討会議の開催、市教委との協議。	①早期発見・迅速対応に努め、施設を起因とする学習の妨げや事故発生件数は0件であった。 ②工事に向けて、各教科等と連携を図りながら、市教委との協議を進めている。	A	○敷地内および学校周辺の美化活動に積極的に取り組むことで、落ち着いた教育環境の維持に努めている。施設の老朽化は避けられないものの、今後も早期発見と迅速な対応に努めていく。
4	【現状】 本校施設は築年数を重ね、経年劣化が見られる箇所も複数存在する。これまで施設に起因する事故が発生しないよう、迅速な対応に努めてきた。 【課題】 教室や廊下等の照明が依然として蛍光灯のままであることや校舎の全体に劣化が進んでいることなど、今後予定されているリフレッシュ工事までどのように対応していくか検討する必要がある。また、非常災害への具体的な対応の検討も必要である。	防災対策、危機管理対策の整備	①危機管理マニュアルを見直し、非常災害発生時における、より実践的な対応策を検討する。	①具体的・実践的な対策の立案し、危機管理マニュアルへの反映及び訓練の実施。	①より具体的・実践的な対策となるよう、危機管理マニュアルを更新するとともに、必要な訓練を実施することができた。また、非常災害時に活用する「生徒情報カード」を新たに作成した。	A	○リフレッシュ工事に向けては、本校の伝統や魅力、特色を大切にしつつ、次代にふさわしい教育環境の実現に向けて、着実に準備を進めていきたい。
		教職員のやりがいと働きやすい職場環境の整備	①管理職が教職員一人ひとりとの対話等を踏まえ、専門性が高まる授業研究及び研修受講奨励を行う。 ②業務改善や働き方改革に関する課題について、管理職が教職員の意見を的確に把握し、適切に反映する体制を整える。	①教職員のキャリアに応じた研修受講奨励の実施、専門性の深化に関するアンケート。 ②新たな業務改善の取組を実施、勤務に関する意識調査での肯定的回答数(率)。	①各研修会について周知するとともに、研修受講奨励を進めた。教職員アンケート教職員研修に係る項目について肯定的回答率は75.4%。 ②教職員と共に、より働きやすい職場環境の構築を検討した。教職員アンケート業務改善に係る項目について肯定的回答率は77.0%。	B	○教職員の専門性が更に高まるような校内研修の実施を検討したい。 ○職場環境のさらなる改善に向けて、教職員の声丁寧に耳を傾けながら、具体的な改善策を講じていきたい。また、校務支援システムの一層の効率化についても、市教委と協議を重ねながら、必要な要望を伝えていく。
5	【現状】 教職員が「市立浦和」の伝統を受け継ぎ、誇りをもって教育活動に取り組み、授業や行事、部活動等をおして生徒一人ひとりの成長を熱心に温かく支えている。 【課題】 各教職員のキャリアに応じた研修受講奨励を一層推進するとともに、業務の更なる効率化を図り、教育活動の質的向上を目指す必要がある。	教職員のやりがいと働きやすい職場環境の整備	①管理職が教職員一人ひとりとの対話等を踏まえ、専門性が高まる授業研究及び研修受講奨励を行う。 ②業務改善や働き方改革に関する課題について、管理職が教職員の意見を的確に把握し、適切に反映する体制を整える。	①教職員のキャリアに応じた研修受講奨励の実施、専門性の深化に関するアンケート。 ②新たな業務改善の取組を実施、勤務に関する意識調査での肯定的回答数(率)。	①各研修会について周知するとともに、研修受講奨励を進めた。教職員アンケート教職員研修に係る項目について肯定的回答率は75.4%。 ②教職員と共に、より働きやすい職場環境の構築を検討した。教職員アンケート業務改善に係る項目について肯定的回答率は77.0%。	B	○引き続き、教職員が本校の伝統を大切にしながら、教科指導や部活動、行事を通じて教育の醍醐味に迫る取組を継続してほしい。 ○教職員の声を生かしながら、研修と管理職との対話を充実させ、教育や職場環境の質的向上を期待する。

学校運営協議会からの意見・要望・評価等